

## ○平成26年12月13日 イノシシ猟研修の様子

今回は、危険防止のため、受講者は、猟銃を携帯せず、山（猟場）での安全確保、見切り、射撃姿勢などの研修です。

### ①まず、入山前に打合せします。



- ・これは、どんなベテランでも複数で銃猟のときは必ず、行います。
- ・また、山の中に、他の人（登山者、作業員、他の狩猟者など）が入っていないか、山の周辺に車などが止まっていないかをチェックします
- ・役割分担も行います。

### ②見切り



- ・見切りとは、獣がいるかどうか、何が、どれくらいいるかなどの判別をすることです。
- ・本で見ると、実際に見るイノシシの足跡は若干違います。

### ③マチ



- ・マチとは、犬を使った巻き狩りを行うときに、待ち伏せをすることです。
- ・安土（バックストップ）を確認し、射撃できる方向をチェックします。
- ・また、勝手にマチを動くことは、危険です。

## ○平成26年12月13日 カモ猟研修の様子

今回は射撃方向などを決め、安全確保したうえで、受講者は、実際にカモを射撃します。

### ①カモの飛び出しを待っているところ



- ・ 猟友会の方が、新規銃猟者のために、池の対岸に回って、カモを追い立て、そのカモを射撃します。
- ・ 狩猟してよいカモかは、事前にベテラン狩猟者の方が識別をします。

### ②解体の様子



- ・ 今回は、西福岡猟友会のご厚意で、解体まで、教えていただきました。

### ③解体の様子（イノシシ）



- ・ 他の猟師さんが捕獲したイノシシも実際に解体させていただきました。

## ○平成26年12月20日 ヒヨドリ猟研修の様子

今回はミカン農家の方のご協力で、農地に立ち入らせてもらって、射撃方向などを決め、安全確保したうえで、受講者は、実際にヒヨドリを射撃します。

### ①ヒヨドリによるミカンの被害の様子



- ・実際に見ると凄まじい被害です。

### ②事前説明を承けます。



- ・獲物がいるからと、あわてて撃ってはいけません。
- ・猟場の様子、ヒヨドリの動きなどを確認します。
- ・また、農家の皆さんの厚意で「農地に立ち入らせてもらっている」ことを忘れずに、必ず、空薬きょう等のゴミを拾って帰ることを、肝に銘じるよう、教わります。

### ③獲物を待ち、飛んできたヒヨドリを狙います。



- ・ゴミ拾いは忘れずに行いました。